

# 「明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のイメージ

## 国の総合戦略

(平成 26 年 12 月 27 日策定)

### ■ 基本的な考え方

#### 1. 人口減少と地域経済縮小の克服

○人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる可能性が高い

○人口減少克服・地方創生のための3つの基本的視点

①「東京一極集中」の是正

②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現

③地域の特性に即した地域課題の解決

#### 2. まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

##### ①しごとの創生

・「雇用の質・量」の確保・向上

##### ②ひとの創生

・有用な人材確保・育成、結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援

##### ③まちの創生

・地域の特性に即した課題の解決

### ■ 基本方針

#### ①政策5原則

政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づき施策展開

#### ②国と地方の取組体制とPDCAの整備

・国と地方ともに、5か年の戦略を策定・実行する体制整備

・KPI(重要業績評価指標)で検証・改善する仕組みを確立

### ■ 今後の施策の方向

#### ○4つの基本目標

①地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

②地方への新しいひとの流れをつくる

③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

④時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

## 「明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」素案

(計画期間 2015 年～2019 年)

### ■ 基本的な考え方

#### 1 人口減少の克服と地域活力の向上

##### (1) 明石の「強み」となる地域特性

- ① 優れた利便性を持つ都市構造
- ② 海をはじめとした恵まれた自然環境
- ③ 住みよい地勢の暮らしやすいまち
- ④ 日本の標準時を伝える歴史あるまち
- ⑤ コミュニティづくりへの取組

##### (2) まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

- 若い世代の結婚・出産・子育てに関する希望がかなう環境を整える
- 「ひと」「しごと」「まち」の好循環を確立

#### 2 明石の良さをいかした戦略の策定

##### (1) 市の総合計画との関係

まちの将来ビジョンや中長期的な取組を総合的に定めた「明石市第5次長期総合計画」の趣旨及び内容を踏まえて策定

##### (2) 方向性

- ・暮らしやすさを重視した市民サービスの向上につながる施策展開
- ・「住みたい、住み続けたい」と思われる『選ばれるまち』に向けた取組を推進

##### (3) 計画期間

2015(平成 27)年度から 2019(平成 31)年度までの 5 か年

##### (4) 目標人口

明石市人口ビジョンを踏まえ、計画期間の総人口を概ね 29 万人

##### (5) 基本的視点

- ①子どもが健やかに育つ魅力ある定住環境づくり
- ②すべての世代にとって安全・安心な暮らしやすい地域社会の形成
- ③より一層の市民サービスの向上を旨とした体制強化

### ■ 基本目標と基本的な方向、具体的な施策

#### ○若い世代の子育て環境を整える

・子育てしやすい環境や、充実した教育環境を整えることにより、若い世代の定住意欲を高めるとともに、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行う。

2019(平成 31)年度の成果指標		備考	
項目	数値目標		
待機児童数	人	2015(H27)年 4 月 1 日	156 人
出生数	人	2014(H26)年度	2,570 人
子育て環境が良いと思う人の割合	%	2014(H26)年度	49.4% 市民意識調査

- ◆出産、子育て、教育への切れ目のない支援（出産に向けた不安解消、子育て支援）
- ◆子育ての負担軽減（こども医療費無料化、予防接種費用の助成、ひとり親支援）
- ◆良好な教育環境の整備（少人数学級、小中一貫教育、学力向上） ◆子育てと仕事の両立（待機児童解消、病児・病後児保育） ◆社会全体でこどもを育む（子どもの貧困対策）

#### ○新たな人の流れを作る

・「住みやすい、暮らしやすい」都市環境をつくるため、市内全域の総合的なまちづくりを進めるとともに、若者や女性が働きやすい環境を整え、明石の魅力を市内外に発信することにより、定住希望者の増加を図る。

2019(平成 31)年度の成果指標		備考	
項目	数値目標		
市内就労者数	人	2015(H27)年 4 月	116,000 人
公共交通 利用者数	万人	2013(H25)年度	9,625 万人
住みやすいと思う人の割合	%	2014(H26)年度	83.0% 市民意識調査

- ◆就労支援（インターンシップ、創業支援、女性活躍支援） ◆交通ネットワーク整備（公共交通、道路） ◆市域の均衡ある発展 ◆生活基盤整備（下水、水道）
- ◆通信ネットワーク（中心市街地の活性化、生産緑地制度、公園整備）
- ◆自然環境、景観保全、ごみ、生物多様性 ◆住宅政策、定住促進（家賃補助）
- ◆シティセールス（情報発信、ふるさと納税）

#### ○まちの賑いを高める

・明石の多様な地域資源を生かし、まちへの愛着を深める取り組みを進めることで、「住みたい、住み続けたい」と思われるまちとなるよう、地域の活力を高める。

2019(平成 31)年度の成果指標		備考	
項目	数値目標		
観光客入込数	万人	2014(H26)年度	489 万人
市民図書館 利用者数	人	—	
明石のまちに愛着を感じる人の割合	%	2014(H26)年度	80.6% 市民意識調査

- ◆観光 ◆文化（本のまち、地域のまつり）
- ◆地産品の国内外への販路拡大、ブランド化（農水産業の基盤強化、就労拡大）
- ◆商工業振興 ◆賑いの創出（天文科学館の活用、周年イベント、他都市との連携）
- ◆産官学連携 ◆多様性（男女共同参画）
- ◆地域コミュニティの活性化（小学校区単位のまちづくり、地域交付金、シニア活動応援）

#### ○安全・安心な暮らしを実現する

・関係機関との連携をいかし、暮らしの安全を確保するとともに、若い世代だけでなく、高齢者や障害者も住みやすく、安心できる生活環境を整える。

2019(平成 31)年度の成果指標		備考	
項目	数値目標		
交通事故発生件数	件	2014(H26)年度	1,558 件
住宅耐震化率	%	2014(H26)年度	90.1%
住み続けたいと思う人の割合	%	2014(H26)年度	70.5% 市民意識調査

- ◆防災治水（防災行政無線デジタル化） ◆防犯 ◆安心な暮らし（医療・介護の充実、高齢者・障害者への支援） ◆バリアフリー化 ◆健康、スポーツ ◆自転車安全講習
- ◆持続可能な公共サービス（人口減少等を踏まえた既存施設等のマネジメント強化）